

令和6年3月(2024年) No.699

例会場の作品上映機材を更新したい

会長 合原一夫

現在使われている例会場の再生機器は、かなり以前からの物で丈夫でしっかりしていて故障もせず、優れものではあるが、如何せん、ブルーレイやDVD専用であって、USBメモリーやSDカード等の差し込み口が無いらしい。一方、ブルーレイ等の盤が高価になっていて、5～10分程度の作品もBD-Rを使うと、一回限りであるから、例会で上映し指摘を受けて編集し直して次回また持参となると、再び新しい盤を使うことになる。BD-REを使えば何回でも使えるが、例会場でうっかり操作ミスして消去してしまう可能性(危険性)もあり、又、再録画のものはノイズが出易いなどの課題がある。

そこでこの際、USBメモリーやSDカードで作品を持参されてもいいようにプレイヤーを更新したらどうかと思う。

そうすれば、欠席者でも遠隔地の会員もメール等であらかじめ中川さんなり江村さん等記録担当者に送っておけば、例会で上映できるようになる。価格はいくらぐらいになるかは判らないが予備費の中で対応出来るのではないか。また、現在使用中のプレイヤーは希望者があれば若干の価格で引き取って貰うことにしたらどうだろう。

以上、提案ではあるが、3月例会で賛同を得たら実施したい。お手数かけますが、この件岡本氏、江村氏、中川各氏にお任せしますのでよろしく願いいたします。

課題コン「夢」・考えていますか！
締め切りは5月例会ですよ

3月例会のお知らせ

■ 3月30日(第5土曜日) 13時開場、13時30分開始。

3月は**第5土曜日**ですので間違わないようお願い致します。

担当世話役さんは早目に来てください。楽しい例会及び二次会にぜひお越してください。

Zoom 会議で勉強会

参加者募集中

副会長 岡本至弘

令和2年の初めから、新型コロナウイルスの上陸により、感染拡大が懸念され始め、例会の中止が始まったところ、そんな環境の中、リモート会議のソフトウェア「zoom」等のアプリが出始め、我が OMC も「OMC オンラインミーティングシステム会議」を立ち上げた。その第1回目は、令和2年7月4日（土）から毎月実施してきて以来4年目になります。

過日、3月2日（土）は、午前10時から、中川会員ホストによる「ショートムービーの作り方」をテーマに、12名の参加があり、なんと2時間近くにわたり、侃々諤々と勉強会をしました。過去の例会に上映された、3分以内の作品を数点ピックアップして研究をしました。これからも、スマホ撮影によるショートムービーが出てくる時代になってきたように思います。新しいジャンルの映像作りが益々盛んになると思います。OMC 会員の皆さん「zoomで勉強会」に更なる会員さん募集しています。ご参加お待ちしております。（問い合わせは岡本まで）

国会放送延期で「きん5時」

出演予定が吹き飛んでしまった？

3月1日 NHK 総合全国放送の金曜日の5時から始まる番組で、合原会長が出演予定だったが、例の裏金問題で揉めている国会中継が延びて「きん5時」番組が吹き飛んでしまった。NHK からは次週に放送すると言ってきたが、次週の「きん5時」が最終回となって色々取り上げるテーマが多く、合原出演分は弾き飛ばされてしまって放送なし。NHK からは腰を低くして3月13日（水曜日）の13時から14時の定時番組「列島ニュース」の中で何とか取り上げるからと言ってきた。これももし国会中継があると中止らしい。新聞を見ていると参議院の政治倫理審査会が週半ばより始まるとか言っており、13時からの「列島ニュース」は、丁度その時間に重なるので中止の運命に会う公算が大きい。

まるまる一日掛けて7名からの取材陣が来てインタビューや撮影、はては万博公園まで行ってのロケまでやって、放送がどんどん縮小され5分程度でやってもらえるのか中止なのか考えさせられる中、この原稿編集に NHK より連絡が入り、11日13時05分の「列島ニュース」で放映されることが決まったようだ。

至急、皆様にはメールにて案内をさせていただくことにした。 (会長 合原一夫)

■ 編集の豆知識 (BGM に気を配ろう)

元会員の関つよしさんは、まず音楽を編集して映像画面をそれに合わせて当てはめていく、といった作品作りの名手でした。代表作は愛宕山の羅漢像をベートーベンの第九交響曲を使った作品で印象に残っています。

BGM を1曲ベタッと使った作品を見受けることがあります。音楽は映像を引き立てる役割と、場面転換の画面を音楽のテンポなりイメージを変える事で、強調する役割があります。また画面の情景を強調（悲しい場面、楽しい場面、苦しい画面、或いは心理的に落ち込んでいる場面等など）したいとき、それに見合った選曲をすべきです。画面が静から動、或いは場所が A から B、季節が冬から春へ、時間が子供から青年へと大きく変わるストーリーの場合は、音楽のイメージもそれに相応しい物に変えると、ぐっと作品の質が上がります。また、ナレーションのところは BGM のレベルをグッと下げるとナレーションが聞きやすくなります。

BGM がない方が良い場面もあります。

自然界の鳥の声、川や滝の流れ、子供達のはしゃぐ声、場合によっては街の雑音など生かしたいという場合もあります。

人の会話の場面も BGM が無い方が良い筈です。

ラストシーンに使う音楽はきちんと終わる曲を選びましょう。フェードして終わるよう小曲は避けましょう。できれば映像シーンのラスト盛り上げるようボリュームを上げ目にして映像の終わりと音楽の終わりを一致するよう、編集で調整すると、より印象が深まります。

エンドマークは画面の終わり2～3秒、ダブらせて出し映像とタイトルだけ黒幕バックで出すと、より印象が深くなります。そのため、映像の最後は黒幕とオーバーラップしておく事です。

■ 編集の豆知識（「終」マークは重要）

最近、例会作品を見ていると、エンドマークを省いている作品が見られます。SNSの影響らしいですが、色々と流行る物ですね。確かにテレビドラマを見てもエンドマークは出てこず出演者やスタッフの名前が出てきてそのまま終わったり、コマーシャルに切り替わったりして、エンドマークがない場合が多くあります。一方、私たちの作品は、1人で何もかも手掛けて作品を作るので、ドラマのように出演者やスタッフの名が、ずらっと出て終わりを印象づけることは出来ません。

「終」マークが出てこない、観客は拍手のきっかけが掴めず、あれはまだ続くのかなあと置いていつまでも黒幕を見ていることになります。また、公開映写会では、作品を一本化するので、上映担当者は「終」マークが出ないと、うっかり次の作品の頭が出て、慌ててストップすることが過去にもありました。終はきちんと締めましょう。

2月例会レポート

2月24日（土）午後1時より、いつもの例会場で2月例会が開催された。暖冬といわれながら、4月の陽気と思えば、急に気温が下がった例会日になりましたが、なんと17名の出席者で12本の作品が生まれ、賑やかな例会となった。

■ 運営担当：司会 上総、書記 岡本、YouTube 関係 中川、映写 江村、山本、記録 中川 受付照明 宮崎、大久保の各氏

■ 出席者：岩井、植村、江村、大久保、岡本、上総、合原、柴辻、高瀬、高田、坪井、鉄具、中川、道下、宮崎、森下、山本の17名

上映作品（今月の書記は岡本）

1. 近江商人のふるさと BD

岡本至弘 14分00秒

（作者コメント）

今から40年前の1984年4月15日と22日の2日間にわたって行われた、OMCの撮影会作品です。当時出品された6作品のコンテストで特選（最優秀作品）に選ばれたものです。当時は、音も入らないフィルム撮影です。近年になって、その作品をテレシネしたもので、フィルムの被写体感度もよく、色あせも少なく残っていました。愚策ではありますが、作品作りの参考になればと持ってきました。



2. 中の島・夕暮れのラバーダック

そして大阪夜景 BD

道下敏行 9分14秒

（作者コメント）

中の島・夕暮れのラバーダックと大阪城・御堂筋・道頓堀・法善寺横丁・通天閣・新世界の夜景を撮影。

（書記コメント）



大阪南やその周辺、大阪城、新世界などの夜景をナレーションを入れてコンパクトにまとめられた作品。観光ビデオ風に構成されました。ただ、タイトルが長い。例えば「光の街・大阪」というような短い方が良い。最後に作者がお店から出たところでエンディングにした方が良い。全般的に少し長いので7分ぐらいに縮めた方がよい。最後の枚方からの夜景はいらない。カットもうまく使っている。ナレーションは、少し早い。作り直してみてください。公開映像祭用に使えるかもです。

3. 犬鳴情歌 BD
柴辻英一 7分30秒

(作者コメント)

またまた歌謡ビデオかと悪口言われるかもしれませんがこれは少々違います・・歌詞と歌詞の間に名所旧跡の案内を入れて観光ビデオにしたことです。こうしたことで観光案内ビデオとして役に立っているのではないのでしょうか・・・・ご笑覧を。

なお、この歌の歌詞は去年亡くなったビデオ仲間の村田さんです。

(書記コメント)

流石、作者お得意の歌謡ビデオ、泉佐野市にある犬鳴山の溪谷を舞台に、女性モデルを使つての映像に歌手の神野美伽さんの歌に合わせて造られました。作詞と歌詞の間に観光案内を入れられた作品楽しく拝見しました。



4. 河内長野から浄心山願照寺へ BD
中川良三 6分00秒

(作者コメント)

河内長野から羽曳野へは石川沿いにサイクリングロードが整備されている。最近体力が落ちてきているので、サイクリングを始めると、富田林市の東南部に五重の塔が美しく聳え立つお寺が見えている。興味があり行ってみることに、唯、寺院は山の上にあるため急な坂を登らなければならず、少し二の足を踏んだが行ってみることにした。

(書記コメント)

コメントを拝見すると、「最近、体力が落ちてきているので、サイクリングを始めた」と書かれている。映像を見ると、電動アシスト付自転車で道路を駆け抜けるシーンである。そして、坂の上まで上がって終わりになっている。カメラを自転車に取り付けての撮影のようだが、この作品のポイントが何なのかわかりにくい作品ですね。説明がほしい。作者名がありませんよ。



5. 稲むらの火の館 BD
上総秀隆 5分16秒

(作者コメント)

和歌山県広川町の「稲むらの火の館」は、幕末期の大地震で人々を津波から救った偉人を顕彰するとともに防災教育のための施設でもある。2023年11月4日撮影。

(書記コメント)

「稲むらの火の館」の館内で語り部さんのお話を収録された映像です。記録ビデオですが、このビデオをもとに実写の画像と組み合わせて作品にしてみたらいいのができると思います。



6. 東海道 関宿

BD

山本正夢

7分50秒

(作者コメント)

東海道53次の宿場で唯一現在まで原型を留めている関宿を訪れました。

(書記コメント)

東海道五十三次47番目の宿場町として栄え、今なお当時の雰囲気が残されている関宿、ここは江戸時代後期から明治にかけて建てられた200棟以上も現存し国の重要伝統的建造物保存地区に選定されている。街道の両側に建てられた建造物を隈なく撮影されました。往時の面影を彷彿とさせる映像が流れる。何か所かテロップで説明されているが、ナレーションで説明されれば、この作品もいきてくるのではないかと思います。



7. くどやま

BD

江村一郎

7分00秒

(作者コメント)

和歌山慈尊院は去年の撮影会で言った花盛祭と大いに関連あります。南海九度山駅から慈尊院周辺で「くどやま芸術祭」開催されていると知り訪ねた。現代美術と言われる展示が各所にあり、全部を回った訳ではないが、確かに今までにない雰囲気を感じたので、それが作品に反映できればと思っています。

(書記コメント)

紀州九度山は、世界遺産や「真田幸村」ゆかりの地。古い趣のある町家が立ち並び高野山へと続く参詣道として知られる。そこで開かれた「くどやま芸術祭」を取材されたもの。

作者独特のカメラワークのカットの画像にBGMを重ねたものには拍手を送りたいが、何を表現したいのか、作品の意図とするところが分かりにくい。



8. 世界遺産・ドロミテを歩く

BD

高田幸夫

8分00秒

(作者コメント)

初めての海外ハイキング旅行でした。最初は雨でしたが翌日は晴れ、雲の合間から現れたトレ・チーメ(標高2999m)は最高でした。

(書記コメント)

ドロミテは、イタリアアルプス東部、イタリアとオーストラリア国境付近に広がる山岳地帯に位置する数多くの奇峰郡が織りなす独特な自然環境で世界遺産に登録されている。そのドロミテにトレッキングに行かれたもの。ドロミテの奇峰郡の展望が素晴らしい。歩きながら様々な景観を楽しんでいる様子を拝見しました。一度行ってみたいところです。奥様の声でナレーションを入れられたら良かったと思いました。



9. 雪のましら

BD

高瀬辰雄

5分30秒

(作者コメント)

「ましら」は、ニホンザルの古い呼び名。数年前に嵐山の岩田山の猿を雪の降る日に撮影し、編集したものです。

(書記コメント)



京都・嵐山の岩田山の「猿」を撮影されたもの。風雪に耐えて生活する猿の様子をうまくとらえられている。寒そうでかわいそうでもあるが、何故かほほえましさも感じる。

最後の、猿が小枝から見下ろすシーンはトップにもっていった方がいいのではとの意見がでました。



10. 光の国へ

BD

大久保すみよ

5分50秒

(編集者、江村一郎氏のコメント)

大久保さんから、突然スマホのラインで写真と動画が送られてきた。日頃から簡単にできると言ってきた手前、作品化することに着手。編集でいらないうところを省きネットからの音声とポスターからの映像を借り場所を特定し、ラインの動画部分をメインにまとめました。

(書記コメント)

大久保作品は、入会後の初出品です。三重県桑名市にある「なばなの里」ウインターイルミネーション・冬華の競演をスマホで撮影されたものを江村会員が編集されました。

画像に関しては、スマホでしっかりと撮影されています。スマホを振り回さずに固定されて撮影されているところはさすがです。これからも、たくさん撮影されて、ご自分でどんどん編集して持ってきてください。

11. 大いなる遺産

BD

合原一夫

10分00秒

(作者コメント)

明治の初め天皇が京都から東京へ移られ、意気消沈していた京都が、琵琶湖から水を引き込み電気を起こし電車を走らせ更に船による運送事業までやり遂げた偉人たちの業績を追った作品。1998年(平成10年)制作



(書記コメント)

明治時代に琵琶湖の水を京都に引くため人工の水路(琵琶湖疎水)が建設された。その物語を作品にされた名作です。作品作りのお手本を拝見しました。

12. 二上山

BD

鉄具嘉夫

8分57秒

(作者コメント)

2016年明日香村で万葉朗誦の会が催されました。二上山も朗誦されました。二上山は皇位継承の件で捕らえられ処刑された大津皇子が祀られている山です。辞世の歌は漢語と日本語で詠まれています。また姉の大迫皇子の歌も詠まれています。



(書記コメント)

万葉文学に詳しい作者の作品。雄岳と雌岳が寄り添って眠る二上山、雄岳の頂上には父・天武天皇が崩御してのち謀判反の罪をかけられ命を落とした大津の皇子にまつわる話など、歌人の歌を挿入しながら、万葉の面影を拝見いたしました。